

平成 29 年度のインフルエンザワクチン予防接種について

ワクチン接種はインフルエンザ感染を予防また感染しても重症化を防ぎ、症状を軽くする効果が期待されますため、1回は接種していただくことをお勧めいたします。

特に高齢者や基礎疾患のある方など重症化する可能性が高い方には効果的です。

ワクチン接種後、充分量の抗体が体内に出来るまで数日間を必要とします。通常、毎年冬（11月～2月）に流行期を迎えますので、インフルエンザの流行の前の12月初旬までに予防接種を受けられることをお勧めいたします。

【本年度のワクチン株・4株】

A 型株/シンガポール/GP1908/2015(IVR-180) (H1N1)pdm09

A 型株/香港/4801/2014(X-263)(H3N2)

B 型株/プーケット/3073/2013（山形系統）

B 型株/テキサス/2/2013（ビクトリア系統）

【ご注意】

- ・1カ月以内に生ワクチンを接種している方、1週間以内に不活性ワクチンを接種している方は、接種できません。ご確認の上、ご予約をお願いいたします。
- ・1週間以内に38.5度以上の発熱があった場合は、予防接種を見合わせる場合があります。